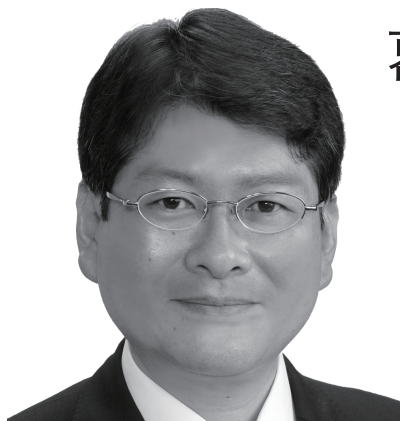


区議会レポート

55号



葛飾区議会議員

かわごえ誠一

本号の内容

表面：ミニタウンミーティングのご案内

裏面：予算審査特別委員会報告他

2019年5月14日発行

発行

かつしか区民連合

【区議会控室】〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

かわごえ誠一

ミニタウンミーティングのご案内

テーマ：**葛飾の災害対策を考える** (仮)

1, 葛飾区の水害対策について ◆葛飾区 / 危機管理課から

2, 災害弱者を守るために ◆障がい児の子育て中の保護者から

と き：2019年 **6月13日** (木) 19:00～ 開場 18:45

会 場：かつしかシンフォニーヒルズ 別館4階 ライラック 葛飾区立石 6-33-1

連絡先 e-mail : info@kawagoeseiichi.com ※会場の都合上事前にご連絡いただけると幸いです。

◆昨年から始めたミニタウンミーティングの4回目は災害対策についてです。◆キャスリン台風から70年以上が過ぎた今、想定外の豪雨が各地で頻発し、改めて大規模水害に対しての危機感が高まっています。東京都の東部「江東五区」において水害への対策が始まりましたが、十分な情報が行き届いているとは言えません。今回は葛飾区の危機管理課長から区の災害対策について伺います。◆また、災害時に弱い立場になる高齢者や障がい者、子育て中の家庭など「災害弱者」への対策もまだ十分とは言えません。障がいを持つお子さんを子育て中の保護者吉川理恵さんから災害時に向けての備え、知っておくべき事、今後の課題などを伺い、ともに考える機会にしたいと思います。

かわごえ誠一連絡先

〒124-0012 葛飾区立石 8-4 7-1 8

携帯電話 090-2932-7315

e-mail : info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com

日々の活動は Facebook をご覧ください。

かわごえ誠一プロフィール

●昭和38年3月川崎市生まれ ●東海大学第二工学部建設工学科卒 ●立石在住31年 ●一男二女の父親 ●保育園/児童保育クラブ父母会, 小中学校PTA, おやじの会, 図書館友の会, 子育てネットワーク, 保田しおさい学校, 三番瀬保全活動などに携わる。
●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●本田消防団第四分団員 ●葛飾区ボッチャ協会会長 ●前都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議会議員選挙で初当選・平成29年二期目当選 ●かつしか区民連合幹事長 ●現区議所属：議会運営委員会／総務委員会／地域活性化対策特別委員会

かわごえ誠一ミニタウンミーティング「隣の街の国際交流」報告

◆去る4月23日にかわごえ誠一ミニタウンミーティング「隣の街の国際交流～隣人としてのエチオピアコミュニティの活動を知る」を開催しました。◆まず、東四つ木にあるNPO法人アディアベバ・エチオピア協会の理事の皆さんから活動のご紹介いただきました。◆葛飾区にエチオピアの方が多く居住しているのは東四つ木に外国人に理解のある家主さんがいたり、家賃が比較的安いこと等があるからとのことと、そこから助け合いの関係が生まれ、NPOの設立のきっかけにつながったとのこととです。現在の活動は近隣とのトラブルがないように日本の文化



を伝えたり、難民申請の支援や法律などの相談、病院での通訳等に取り組まれているとのことでした。課題

として子どもと親で日本語習得の差が生じることや、就労、医療等の問題が上げられていました。◆次に葛飾区文化国際課長から、区の外国人登録の状況と国際交流事業について報告がありました。葛飾区の外国人住民は平成31年現在21,839人で葛飾区の人口の4.7%を閉め、在留外国人の数は全国自治体のうち11位とされています。区は外国人向けの情報提供や、生活相談、国際交流まつり等の交流、ボランティア育成事業等を実施しています。◆今後増加をすると予想される外国人に対しての施策はさらに重要性を増してきます。教育委員会で日本語ステップアップ教室を開設したり、今後、新小岩に外国人の相談窓口の整備を検討していますが、まずお互いの文化を理解し、交流を進める事が大切だと感じました。それが豊かなまちづくりにつながると思います。来年のオリンピック・パラリンピック大会を最大の機会と捉え、多文化共生社会に向けた取り組みを進めたいと思います。

平成31年度予算審査特別委員会 分科会 報告

◆去る2月の区議会第一回定例会において平成31年度当初予算案の予算審査特別委員会が設置され、4つの分科会において審議がされました。かわごえ誠一は総務費などを審議する第一分科会と教育費などを審議する第四分科会に所属しました。そこでの要望の概要を報告します。

第一分科会

総務管理費 ◆文書管理経費は、東日本大震災時の区内の被災状況の記録方針なども明確ではない。公文書館機能も含めて専門的な公文書管理について検討せよ。◆浸水対応型市街地検討業務は水害リスクを丁寧に説明し、建築物の浸水対応を進めよ。◆昨年、補正予算で取組まれたブロック塀等撤去工事費等助成経費は評価するが、助成対象でありながら未実施の箇所を放置せず、フォローを検討すべきである。◆防災船着き場整備経費は緊急時以外にも常時使用できるように整備を進めよ。◆人権推進事業経費は人権推進指針の改訂において、都の犯罪被害者条例策定の状況を見極め、被害者支援の検討を進めよ。

区民費 ◆地域活動推進経費は地域貢献サポートデスクが社会福祉協議会に移管されるが、区としての市民活動支援方針を明確にし、区内の活動団体の情報を収集した上で、支援体制を構築していただきたい。◆文化振興経費は国の文化芸術基本法に則り、区として文化振興の方針を明確にし、支援体制整備を進めよ。

産業振興費 ◆地域資源活用型産業活性化支援事業経費は区内での町工場におけるオープンファクトリー実現に向けて情報収集をし、支援を検討すべきだ。

第四分科会

教育総務費 ◆学習センター整備経費では学校司書の配置の週30時間への増加を評価するが、学校図書館を学習センターとして活用するため、教育委員会として専属の職員を配置するなど総合的な支援体制を整備すべきだ。また「図書館を使った調べる学習コンクール」への取り組みを進めよ。◆特別支援教育推進経費は高校入試での合理的配慮が学校現場や保護者にまだ知られていない状況がある。子どもたちに不利益が無いように支援を求める。

◆総合教育センター管理運営経費において、昨年センターは一時期管理職の不在があったが体制整備を急ぎ、不登校・発達障害・日本語ステップアップなど専門的な支援を構築し、それぞれを連携させた体制整備を進めよ。

小学校・中学校費 ◆教員の負担軽減策について学校事務員等雇上費では副校長の補助をする「学校経営事務補助員」や、教員の補助をする「スクールサポートスタッフ」などの導入を評価し、さらなる拡大を求める。◆学校給食運営経費では去年の食品衛生法の改正により「HACCP」に基づく食品の衛生管理が求められている。学校給食での「HACCP」の取り組みを周知せよ。

社会教育費 ◆学校地域応援団事業経費は地域から学校への一方的な支援の提供にないように学校教育と社会教育の融合の視点をしっかり持つべきである。また、各学校の温度差が見られる。孤立しがちな地域コーディネーターへの支援体制を整備せよ。◆PTA研修会経費はPTA活動の実態調査をし、教育委員会としての支援を再構築するべきである。◆文化財保護は区内の石碑、遺構などの調査から30年以上経つが、改めて調査をし、デジタルミュージアムやVRなどを活用しての公開を検討せよ。